



歯を大切にしよう

『6月4日～10日は歯の衛生週間』です。

子どもたちの歯を虫歯から守りましょう！

*丈夫な歯で、よく噛んで食べることは、健康な体を作る上でとても大切なことです。虫歯にならないように歯磨きをしましょう！それでも虫歯になったら早めの治療をしてあげてください。

*歯の働き

- ・食べ物を噛み消化を助ける。
- ・言葉が正しく発音できるよう助ける。
- ・顔の形を整え、あごの発育を助け、噛むことで脳の発達を促す。
- ・永久歯が正しく生え変わる時の場所のガイドになる。



あじさい豆知識

あじさいの花が綺麗に咲き始めました。あじさいの色は土の成分や開花の日数、発色に影響する成分がアントシアニンに混じることから、赤、青や紫などに変わるようです。登園降園時に子どもたちと探してみるのも楽しいですね。

雨の日の園内散歩などを計画しています。この時期だから楽しめることを考えると、雨も楽しいものになることでしょう。



梅雨時期もときどきわくわく

広島県の緊急事態宣言も20日まで延長となり、コロナ感染者の数もまだまだ多く、緊張感が続きます。近隣の小学校や高校でも職員や生徒さんに感染者が見られ、すぐそこまで迫っているようで心配が絶えませんね。保護者の方の職場でも感染者ができたとか、熱が出たのでということで、PCR検査をされる保護者の方もおられます。事業所での一斉検査も始まっているようで、園の方に連絡をこまめにくださる方がほとんどです。保育園の中にはコロナウィルスはいないということで、毎日楽しい保育をしておりますが、コロナ感染が疑われるようなことになりますと、子どもたちの動きを制限したり、異年齢で交わって遊ぶことができなくなります。コロナの感染対策をしながらも、子どもたちには今しかできない楽しい経験をさせたいと思っております。保護者の皆様も十分対策はされておられるとは思いますが、コロナ感染の疑いがある時にはお休みをし、病院を受診し、安心できる状態になって登園するようにしてください。

早くも梅雨入りし、今年は長い梅雨になりそうです。今どのクラスも、梅雨でも楽しい保育を計画しております。雨だからこそできる保育、傘をさしてのお散歩や雨の音を楽しむ工夫、テラスでのあそび、またお部屋の中でのあそびも、ごっこあそびが広がったり、新たなる楽しいコーナーもできそうです。「雨が降って残念」ではなく「今日も雨が降ったからこんな楽しいことができた！」というように、梅雨時期だからこそその楽しいあそびを展開していきます。その様子をきっぷノートやドキュメンテーションで保護者の皆様には配信しようと思っておりますので、1日1回はきっぷノートの確認をお願いします。

現在、緊急事態宣言が出ているという事で、室内では年齢別に分かれての保育をしております。しかし、園庭では、自分の好きな場所で遊びますので、異年齢で交わって遊んでいます。その中で小さい子がお兄ちゃんお姉ちゃんがやっていることを真似たり、難しそうにしていたら大きい子が手伝ってあげたりする姿が見られます。また、職員が木工で金づちやドライバーを使って作りものをしてしていると、子どもたちは集まってきて、「ぼくもやってみたい」と

いう思いを持ち、年長クラスでは木工に挑戦し始めた子もいます。子どもたちは大人がやっていることをよく見て、まねっこしてやりたくなるのです。だからこそ乳児クラスの子もたちはおままごとが大好きで、お母さんがやっていることをよく見て、お料理作りを楽しんだり、食べるまねっこをして遊ぶのです。また、ひたすら水で遊びたい子もいます。ペットボトルに水を入れては、ハンドカーに移し、一杯になるまで夢中に入れ続ける子。子どもたちは自分がしたいあそびに集中し、考えたり工夫しながら、様々なことを感じているのです。

幸せな子どもを育てる四つの因子というのが、慶應義塾大学の前野隆司先生の2018年の論文で紹介されています。①「やってみよう」因子…自己実現、「やってみよう」の主体性が小さいころから大事にされている子どもは、その後幸せになる可能性が高いのだそうです。②「ありがとう」因子…人から愛されたり、「あらすてきね」と言われて育った子は、自分がされたように人にもそのまま接し、人に感謝し、親切にしたい思い「ありがとう」の気持ちが育つのです。③「何とかなる」因子…楽観的で気持ちの切り替えができる。大人になっても何とかかなると思える人は何とかなってしまうものです。④「あなたらしく」因子…「あなたはあなたらしさがすてきなよ」と言われて育った人は自己肯定感が育ちます。今、日本の子どもたちの最大の問題は、自己肯定感が極めて低いことだといわれています。その子らしさが大事にされ、やりたいことを夢中に行えること、うまくいかないことも、あそびの中で乗り越えられること、こういうことが大事にされてきた子は自己肯定感が育ち、幸せに育つのではないかと今の研究でいわれています。

家庭でも保育園でもこの四つの因子を大切にしながら、興味を持ったことは「やってみよう」とすぐに挑戦できる環境作りをしたり、お手伝いしてくれた時には、「ありがとう」と伝えたり、自信につながる体験をさせていきましょう。親も職員も楽しんで、みんなで子育てしていければと思います。

これからの梅雨時期、コロナ禍ではありますが、わくわくときどきしながら、今しかできない楽しいあそびを広げていきます。

くまの・みらい保育園 園長

あそびは続くよどこまでもパート2



手作りギターで、ホールでコンサート



砂山で段ボールを敷いてすべつてあそんだよ。ねころぶときもちい〜い！！



お花で色水あそび・大根の種でお料理



おおきな黒板にお絵描き！なんかいでもかけるよ。たのし〜い！

園庭やお部屋、ホール、自分の好きな場所で、集中して遊んでいます。暑くなるこれからの季節、水や泥んこ、木工や草花、様々なものにふれ、あそびはこれからどんどん続いていくことでしょう。